

# モンゴル国家計画の実施とその動向

モンゴル内閣官房アーカイブズ

ゾルボー・ダシニヤム

まずこの美しい街・東京を訪問し、本日このセッションで短いカントリー・レポートを発表する機会を与えて下さった EASTICA 及び国立公文書館をはじめとする主催者に心からお礼を申し上げたい。

現在モンゴルでは、他のアジア諸国同様、情報技術 (IT) が急速に発達している。統計によれば、2011年初頭のインターネット接続契約者数は2009年比で53%増の19万9849人となっている。また、国際連合の「電子政府調査2010 (E-Government Survey 2010)」では、「…モンゴル (0.5243) は前回調査時より29位順位を上げて53位になったが、この劇的な伸びは第一に、e サービスやオンライン用コンテンツを提供する国のポータル・サイトや省庁のホームページの強化に取り組んだことによる…」としている (国際連合、2010)。加えてオンライン・サービス指標では上位15カ国中、9位にランクされた。

鉱業の活況に沸くモンゴルでは今年、経済成長率が10%超の急激な伸びを示した。こうした経済情勢のおかげで、様々な社会開発が可能になる。そのような開発の例はモンゴルのどの社会セクターでも数多く見受けられる。率直に言うと、モ

ンゴルでは電子アーカイブズよりもデジタルライブラリーの方がずっと進んでいる。

モンゴルの議会と政府は、電子署名法のようなデジタル環境に向けた法的条件の整備に力を入れている。また、国立データ・センターが外部からの出資によりウランバートルに設立された。

我々モンゴル国立公文書館はこの十年、IT 導入で成果を上げてきた。とりわけ2006年のモンゴル政府政令第64号「アーカイブズ及び記録管理活動への IT 導入に関する国家計画」決定後がそうである。

2005年にはこの国家的計画の実施・調整にあたり、国立公文書館の内部組織として新たに「情報技術部」が設けられた。モンゴル国立公文書館はモンゴル標準化室と協力して情報、ドキュメンテーション、記録管理に関する MNS ISO 15489 : 2007を承認し、2008年にはそのモンゴル語版を刊行した。この基本的規格の他に、モンゴルの専門家やアーキビストは、大学生や現在アーカイブズ組織で働くアーキビスト向けに「アーカイブズ資料のデジタル化の共通ルール」「電子記録：電子アーカイブズ」「アーカイブズ記録」といった書



籍を出版した。

国家計画は2020年までに三段階に分けて実施されることになっている。既に2006-2009年にその第一段階を終了した。ここには戦略の策定、資金調達先の探索、人的資源の確保といった主要な仕事が含まれている。例えば2010年5月にはEASTICA、ICA、世界銀行の支援を得て、ウランバートルでモンゴルのアーキビスト向けに「現代のアーカイブズ管理」に関する短期トレーニングを開催した。

ここ数年、モンゴルは国際協力機構（JICA）、トルコ国際協力開発機構（TIKA）、韓国国際協力団（KOICA）といった国際的なドナー（援助供与者）から少なからぬ額の資金提供を受けた。しかしこうしたプロジェクトは大概、外務省や内閣官房、国民大会議（モンゴル国会）といった個々の組織のアーカイブズを対象にしている。今日、何らかの制限はあるにしても、誰もがオンライン・ネットワークを通じて電子文書を利用することができる。残念ながら、こうして単独で作られたデータベースは、ソフトウェア資源の違いが原因で統合型ネットワークとして機能させることができなかつた。例えば、TIKAがモンゴル内閣官房アーカイブズで実施した「電子アーカイブズ」プロジェクトで、我々は技術装置やアーカイブズ

用ソフトウェアの供与を受けたが、このソフトウェアは今日でもトルコ国立公文書館で使われているものだ。

2010年のモンゴル政府政令第261号は「国家計画の実施を強化する活動」に関するものであり、デジタル化と複製作成業務促進のため、各県にある国の公文書館一館あたり最大5人のアーキビストを増員しているところだ。また、来年は国の公文書館各館に高速スキャナ、パソコン、データ・サーバーその他のネットワーク用設備といった特殊用途の技術を導入する予定だ。

ここで触れておきたい重要なことがもう一点ある。現在モンゴルでは国家予算を充ててモンゴル国立公文書館の新しい建物を建設中であり、2014年竣工予定となっている。我々はヨーロッパやアジアで公文書館建築の最良の例を学んできた。新たに設計された建物では、より快適にデジタル記録を利用することができるはずだ。

2012年のEASTICAセミナーは7月中旬にウランバートルで開催の予定だ。皆さんの来蒙を歓迎し、来年ウランバートルでお会いするのを楽しみにしている。

ご清聴に感謝する。

---

原 題：Implementation and its Tendency of National Program

報告者：Zolboo Dashnyam, Head of the Archives, Cabinet Secretariat Archive of Government